

スマートみやぎ健民会議 10周年記念誌



発行

令和8(2026)年3月
宮城県保健福祉部健康推進課

〒980-8570

宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

電話 022-211-2624

FAX 022-211-2697

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kensui/>

E-mail kensui@pref.miyagi.lg.jp

INDEX

ごあいさつ・メッセージ	01
スマートみやぎ健民会議とは？	02
10年の歩み	04
スマートみやぎ健民通信 あの頃のトピックス	06
会員の取組	
一般会員	08
優良会員	11
宮城県健康づくり優良団体表彰 受賞者一覧	13
大賞・受賞者レポート	14
代表者会議の記録	16
応援企業	18
みやぎヘルスサテライトステーション	20
開催したイベントの概要	21
これまでの成果／次の10年に向けて	24
ロゴマーク一覧	26
スマートみやぎ健民会議 会則	27



ごあいさつ

スマートみやぎ健民会議 会長 宮城県知事 村井 嘉浩

平成28年2月に設立した「スマートみやぎ健民会議」は、10周年の節目を迎えました。御参画いただいております企業・団体の皆様、並びに設立当初から健民会議の取組に御助言をいただいております東北大学 辻名誉教授に、深く感謝申し上げます。

この10年間で、多くの企業、保険者、医療関係団体、大学、行政機関等の皆様に御参画いただき、会員数は1,100団体を超えています。

これまで、会員の拡大に取り組むとともに、企業の健康経営や地域での自主グループ活動など素晴らしい取組の紹介や気軽に健康チェックができる拠点の整備などに取り組んでまいりました。会員の皆様にも「スマートアクション宣言」に基づき、それぞれの企業や地域で歩数増加や受動喫煙防止等に取り組んでいただいたことにより、県民の健康づくりへの意識が高まってきております。

今後も、県民の健康と幸せの実現を目指し、スマートみやぎ健民会議を核として、健康づくりの取組を推進してまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。



メッセージ

スマートみやぎ健民会議 顧問 東北大学 客員教授・名誉教授 辻 一郎

この10年間、スマートみやぎ健民会議に参加する団体は増え続け、それとともに健民会議の活動も多様化し、より魅力的なものになりました。そして多くの県民が参加したことにより、まさに健康づくり県民運動と呼ぶにふさわしい広がりが見えてきました。10年前に顧問をお引き受けしたとき、ここまでの盛り上がりは予想できなかったというのが、私の正直な気持ちです。ご関係の皆様方のご尽力に改めて敬意と謝意を表する次第です。

健康づくり運動から生活習慣の改善へ、そして生活習慣病の予防から健康寿命の延伸へ。これらが実現するには相当の時間が必要です。ところが宮城県民のメタボ該当者・予備群の割合は令和5年に初めて全国ワースト3から脱出しました！これが始まりとなって、県民の生活習慣・健康レベルの改善が目に見える時代の到来を確信しております。これまでの10年は種まきの期間でしたが、これからの10年は稔りの期間となるでしょう！益々のご発展を祈念いたしております。

スマートみやぎ 健民会議とは？



産学官連携により、
県民の健康と幸せを実現するための
県民運動を推進する組織です。

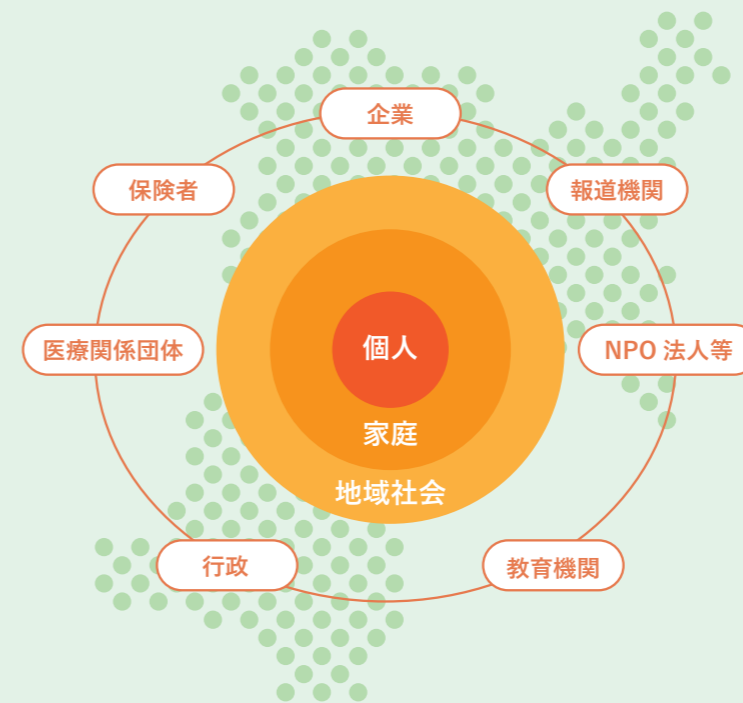
「スマートみやぎ健民会議」設立のきっかけ

宮城県民は、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合が高く、全国平均と比べて、歩数が少ない、喫煙者の割合が高いなど、健康課題があります。そこで、企業、団体、大学、行政等の協働により、健康づくりの県民運動を推し進めるため、知事を会長とする「スマートみやぎ健民会議」を設立しました。

〈スマートみやぎ健民会議設立記念講演会時の資料〉



企業・保険者・医療関係団体等と連携し、
生涯を通じた切れ目のない健康づくりの支援体制を構築



会員になると

- 宮城県ホームページに企業名(団体名)が掲載されます。
- ▼
- 健康づくりに取り組む企業・団体として、イメージアップに！
- 県から健康イベントの案内や健康に役立つ情報が届きます。
- スマートみやぎ健民会議のロゴマークが使えます。(別途申請が必要)

スマートみやぎ健民会議の組織体制

会長(知事)

顧問

副会長(県医師会会長、県商工会議所連合会会長)

代表者会議(経済、医療関係、保険者、報道、学識経験者、行政)

会員

一般会員

優良会員

〈主な活動内容〉

- 健康経営の推進
- 県民の健康づくりに関する情報の提供や理解の促進
- 会員相互の情報共有、情報交換
- 健康づくりに関する表彰



健康づくりセミナー・講演会



健康づくり優良団体表彰

スマートみやぎ健民会議 10年の歩み

2月9日
スマートみやぎ健民会議
設立記念講演会

3月1日
「スマートみやぎ健民通信」
第1号発行

11月21日
データヘルス・予防サービス見本市
2016 in 東北

2016 (平成28年)

2月21日
第2回宮城県健康づくり優良団体
表彰式(受賞4団体)

平成29年度スマートみやぎ健民
会議管理者セミナー
(日本健康会議共催)

2018 (平成30年)



2月7日
第4回宮城県健康づくり優良団体
表彰式(受賞3団体)
令和元年度スマートみやぎ健民
会議管理者等セミナー②

11月
「脱メタボ!健康3.15.0宣言」始動

2020 (令和2年)

12月
「健康3.15.0ダンササイズ」公開

2022 (令和4年)



11月14日
第8回宮城県健康づくり優良団体
表彰式(受賞3団体)

令和6年度みやぎ食育と健康づくり
フェスタ

スマートみやぎ健民会議
【代表者会議】開催

2024 (令和6年)

2015 (平成27年)

12月18日
スマートみやぎ健民会議会則 施行



2017 (平成29年)

2月23日
第1回宮城県健康づくり優良団体
表彰式(受賞5団体)

平成28年度スマートみやぎ
健民会議管理者等セミナー

8月1日
スマートみやぎ健民会議優良会員
第1号登録

スマートみやぎ健民会議応援企業
第1号登録

8月4日
みやぎヘルスサテライトステーション
第1号施設 オープニングセレモニー

8月23日
日本健康会議2017

11月13日
スマートみやぎ健民会議
【代表者会議】開催



2019 (平成31年・令和元年)

1月31日
スマートみやぎ健民会議
【代表者会議】開催

2月1日
大崎地域職場健康づくり
リーダーセミナー

3月27日
第3回宮城県健康づくり優良団体
表彰式(受賞4団体)

7月17日
令和元年度スマートみやぎ
健民会議管理者等セミナー①

11月22日
スマートみやぎ健民会議
【代表者会議】開催

2021 (令和3年)

1月18日
第5回宮城県健康づくり優良団体
表彰式(受賞3団体)



2023 (令和5年)

2月2日
第6回宮城県健康づくり優良団体
表彰式(受賞3団体)

11月6日
第7回宮城県健康づくり優良団体
表彰式(受賞3団体)
令和5年度みやぎ健康3.15.0フェア



2025 (令和7年)

11月4日
第9回宮城県健康づくり優良団体
表彰式(受賞3団体)

令和7年度みやぎ食育と健康づくり
フェスタ
「スマートみやぎ健民会議」10周年
企画(パネル展)

県における健康づくりのトピックス

2018(平成30)年度

- 「みやぎベジプラスメニュー」の 開発・商品化開始

2023(令和5)年度

- 11月を「みやぎ健康月間」に制定

2024(令和6)年度

- 「第3次みやぎ21健康プラン」スタート

スマートみやぎ 健民通信

あの頃のトピックス

発行期間:平成28年3月～令和3年4月(全14回)

平成28年の設立から、「スマートみやぎ健民通信」を通して健康づくりの情報を届けてきました。講演会やキャンペーンなど、これまで取り組んできた活動を紹介しています。



スマートみやぎ健民通信
バックナンバー

創刊号(平成28年3月発行)

「健民会議設立記念講演会」開催!

「スマートみやぎ健民会議」の設立を記念した講演会を2月9日(火)に県庁講堂で開催しました。会場には約450名の参加者が集まり、知事や講師の講演に熱心に耳を傾けていました。



(左から千葉直樹氏、村井嘉浩知事、辻一郎教授)

“スマートみやぎ健民”を目指して発進!

宮城県知事 村井 嘉浩

冒頭、村井知事から、宮城県はメタボリックシンドローム該当者及び予備群を合わせた割合が6年連続全国ワースト2位、男性の1日の歩数が全国ワースト1位であるほか、子供の肥満傾向児が多いなど宮城県の健康課題や、スマートみやぎ健民会議の設立の趣旨について説明し、県民に対して脱メタボを呼びかけました。

基調講演

メタボリックシンドローム対策の最新情報と今後の展望

東北大学大学院医学系研究科 辻 一郎 教授

辻教授からは、脱メタボのためには、県民一人一人が今より10分多く体を動かすこと、日常生活の中に歩行や運動を取り入れることなどが紹介されました。また、県や市町村は全庁的な取組として健康づくりに取り組むことや、職場も健康づくりを支える場であり、社会全体の取組が重要であるとの話がありました。



トークショー

健康な体を手に入れるために ～元プロスポーツ選手に学ぶ健康法～

元 ベガルタ仙台 千葉 直樹 氏



千葉直樹氏からは、現役時代には、トレーニングをするだけでなく、栄養学を学び、試合前とそれ以外では食事内容に配慮し体づくりに努めていたことや、現在も、食事を気を付けているほか、家で筋力トレーニングをするなど健康に気をつけているとの話がありました。

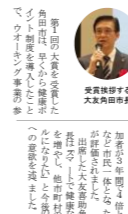
第4号(平成29年6月発行)

平成28年度宮城県健康づくり優良団体表彰 大賞に角田市

スマートみやぎ健民会議管理者等セミナー・表彰式開催



(左写真 左から) 角田市長、柳アトムアースエビエナジー代表取締役佐野副社長、産業部長、山田副知事、柳アトムアースエビエナジー代表取締役佐野副社長



角田市長

企業部門優良賞
プライアムアースエビエナジー(株)と宮崎工業(株)が受賞



上:表彰状(柳市長) 下:柳市長の(クイズ) 山田副知事より表彰される 白石商工会議所の柳副会長

【市町村部門】気仙沼市
【地域団体部門】白石商工会議所 が受賞

第5号(平成29年9月発行)

「日本健康会議2017」で知事が講演

スマートみやぎ健民会議を全国に発信!



講演する村井知事



講演する村井知事

国民の健康づくりを民間主導で進める「日本健康会議2017」が加齢厚生労働大臣臨席のもと8月23日、東京都千代田区のイイホームホムカフェインテグレーションで開催された。同会議は健康寿命の延伸と、医療費の適正化を図ろうと、経済団体や医療関係団体、保険者などで平成27年7月に発足し、「健康なまち・職場づくり宣言 2020」の達成を目指しています。この日は「健康寿命延伸と医療費適正化」をテーマとした健康づくり推進の取組と、1年の活動状況などが報告されました。また、今回は地方自治体の健康づくり・まちづくりなどに焦点をあて、先進的な取り組みを展開する都道府県や市町村の取り組み事例などが紹介されました。その中で、「健康寿命延伸・健康づくり推進の取組」として村井知事が本県の取組状況を全国に向けて発信しました。宮城県が推進する「スマートみやぎ健民会議」は、知事のリーダーシップの下、経済界・医療関係団体・市町村・保険者団体など様々な主体が参加、連携し、健康寿命の延伸と医療費適正化を目指す取組であるとして、注目されています。

第6号(平成31年4月発行)

スマートみやぎ健民会議 祝!3年目を迎えました

県民の健康づくりを後押しする社会環境を整備するため、平成28年2月から始まった「スマートみやぎ健民会議」の会員数は、328団体(H30年度末現在)まで増加しました。会員の皆様には、宮城県の健康課題を解決すべく、「スマートアクション宣言(健康づくりに関する具体的な取組)」に積極的に取り組んでいたことに、感謝申し上げます。県では動画による啓発を行うなど、会員増に努めていますが、ぜひ皆様方からも「会員になってみたい?」とお声がけいただけると幸いです。健康に関心がない人でも健康情報に触れられる「スマートみやぎ」を目指して!ぜひご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。

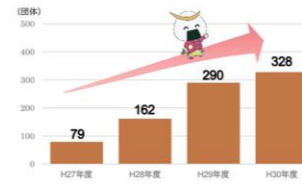


図1:「スマートみやぎ健民会議」会員加入状況



図2:ホームページ掲載中の動画

第8号(令和2年1月発行)

「健民会議」は新たなステージへ



「健民会議」は新たなステージへ

第9号(令和2年3月発行)

みやぎベジプラスメニュー商品化一発表会報告



令和2年3月2日、県庁において、野菜たっぷり、塩を控え目にした「みやぎベジプラスメニュー」の商品化発表会を開催。メニュー提案者である管理栄養士養成施設の学生さん3名、食生活改善推進員さん3名、商品化していただいた4企業の皆様にお集まりいただき、メニューのアイデアや商品化に当たっての工夫など御紹介いただきました。村井知事は、県が9年連続メタボ全国ワースト3位以内であることに触れ、「県民の皆様の健康寿命を延ばす意味でも、大変大切な取組であると考えております。」とコメントしました。商品は各店舗で、3月に販売されます。

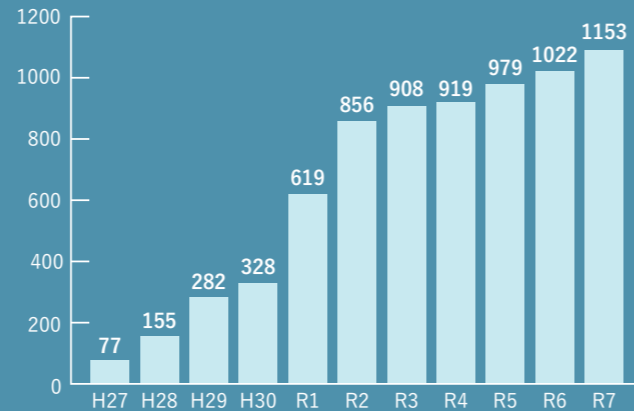


会員の取組

一般会員

健民会議の趣旨に賛同し、健康経営や県民の健康づくりを推進する企業・団体

〈一般会員数の推移 ※R7はR8年2月末現在〉



企業 株式会社柴清工業

社員の健康維持と運動不足の解消を重要課題と位置づけ、安全大会に合わせて健康増進セミナー及び体力測定機器を用いた体力テストを実施いたしました。参加者は積極的に取り組み、従業員間のコミュニケーション活性化にも寄与しました。健診では把握しきれない現在の体力を確認でき、健康意識の向上にもつながっています。

今後は食生活の見直しや減塩、野菜摂取の促進を課題とし、より一層の健康づくりを推進してまいります。



業種:建設業

ココに注目 第9回健康づくり優良団体表彰「優良賞」受賞。従業員のやる気に働きかける「体力」測定を切り口に、健康行動へ誘導しています。

企業 有限会社マルエ運送

当社は健康で長く働ける職場づくりに取り組んでおります。運動不足解消の一環として宮城県が開催する歩数アップチャレンジへ全社員で参加。また、地元保健所の出前講座を活用して社員参加型の健康セミナーや体力測定を開催。その結果、健康意識の向上と自己体力の把握と共に社員同士のコミュニケーションの増加にもつながりました。

気持ちの良い笑顔・挨拶・返事ができるのも心身ともに健康であればこそです。社員の高齢化が進む中、健康で働けることは会社にとって社員の家族にとっても大切です。退職後も健康で自分の足で歩けることを目指した社員主体の活動を継続してまいります。



業種:運送業

ココに注目 第9回健康づくり優良団体表彰「優良賞」受賞。外部の支援やイベントを上手く活用し、健康を意識できる環境づくりを行っています。

保険者 全国土木建築国民健康保険組合 仙台健康支援室

東北の加入事業所様と被保険者の皆様の健康づくり支援をしており、近年は保健指導や健康講話に加え、口腔ケア、骨や筋力の保持増進に向けた握力・転倒リスク、野菜摂取促進の各種測定会等も行っていきます。今後は建設業と宮城県の共通課題である喫煙対策にも力を入れる予定です。

支援の一方、私達職員も毎朝の「いきいき健康体操」や、毎年テーマを決めて健康づくり活動を実施しており、2025年度は血圧記録と減塩味噌汁コンテストを実施して、各自が考案したレシピを共有し、美味しく減塩するコツを学びました。

今後もスマートみやぎ健民会議の皆様と学びながら、東北の健康課題に挑みたいですね。



業種:保険者

ココに注目 被保険者の動機づけを促す工夫をしています。また職員自身も楽しく参加できる取組により健康づくりを実践しています。

企業 ハリウコミュニケーションズ株式会社

社員の健康づくりの取組を始めて10年が経ちました。「社食」から始まった取組は「健康経営」へと広がり、今では健康づくりが当然のことになりつつあります。

特に力を入れてきたのが健康的な食生活を目指す「食育」です。月1回のご飯社食は社員にとっても楽しみの1つになっています。野菜の美味しさを感じられ、栄養もしっかり摂れる献立にすることで野菜の摂取量が増えました。また、正しい知識を得て健康的な食生活に取り組めるように、食をテーマにした研修会も行っています。



業種:印刷業

ココに注目 従業員の誰もが自然と健康意識が高まる取組を推進。「ご飯社食」の取組は同社のホームページにも掲載されています。

企業 株式会社ルネサンス ▶ 応援企業

弊社は「健康のソリューションカンパニー」として、お子様世代から高齢者の方まで、また地域・職域など幅広い領域での健康づくりを支援しております。

生活習慣改善、睡眠やメンタルヘルス対策など様々な健康課題を解決するコンテンツを幅広く提供するとともに、いかにその後の行動変容につなげるかなど、知識のインプットだけにとどまらない健康づくりの在り方を意識しております。

今後は、健康度の測定会やイベントのブース出展など、健康づくりの動機づけの機会を増やし、より健康に関心を持つ県民の増加に寄与できればと存じます。



業種:スポーツジム

ココに注目 応援企業としても健民会議をサポート。運動分野に限らず、幅広い健康づくりサービスの提供により、健康課題の改善に貢献されています。

学校 仙台青葉学院大学

保健委員会(担当看護学科)が、学生の食生活サポートを目的に、障害者施設に調理を依頼した栄養バランスの取れたお弁当と豚汁を販売しました(計36回: R6年7月~R8年1月)。看護学科の健康学習グループメンバーが、弁当販売を担当し、健康づくりに役立つ健康情報カードを作成・配布しました。お弁当を購入した学生からは「お弁当を食べるとカラダが喜んでいる気がする」、「手書きの健康情報カードはイラストが入ってかわいし健康管理に役立つ」などの感想が聞かれ、今後も学生の健康づくりを応援するグループ活動を継続していきたいと思ひます。



業種:大学

ココに注目 障害者施設と連携した栄養バランスの取れた弁当の販売は、学生の育成と若者の健康づくりを両立させた好事例です。

企業 株式会社サンドラッグ **応援企業**

健康で豊かな暮らしへの貢献のため、地域包括支援センター様と協力して、介護予防教室での、健康測定(血管年齢や健骨度測定など)や弊社管理栄養士による血管や骨、認知症予防のための食生活などの栄養講座を年間3回ほど実施しました。

参加者からは「何気なく過ごしているのがためになりました。気を付けて過ごそうと思います。」「なかなか計ることがないので、良い体験をしました。」などお声をいただきました。

これからも地域と協力して健康に暮らしていけるお手伝いができるよう継続してまいります。



業種:小売業

ココに注目 応援企業としても健民会議をサポート。店舗のみならず、地域での介護予防教室など、地域住民の健康づくりに貢献されています。

地域団体 ラジオ体操台原早林会

ピーク(夏場)には80人を超すこともありましたが、参加者の高齢化が進む中コロナ禍もあり、現在はほぼ半分近くまで減少(一部は森林公園の他の場所に分散)。「体を操る」のとおり、ラジオ体操は高い健康維持効果が認められる短時間の軽運動なので、「継続は力なり」をモットーに365日毎朝開催しています。参加モチベーションを高めるため、皆勤者には毎月健康名言等をデザインした「宮沢賢治賞」の授与を行うほか、参加者を通じて地域の方々への新規参加の呼びかけを行っています。



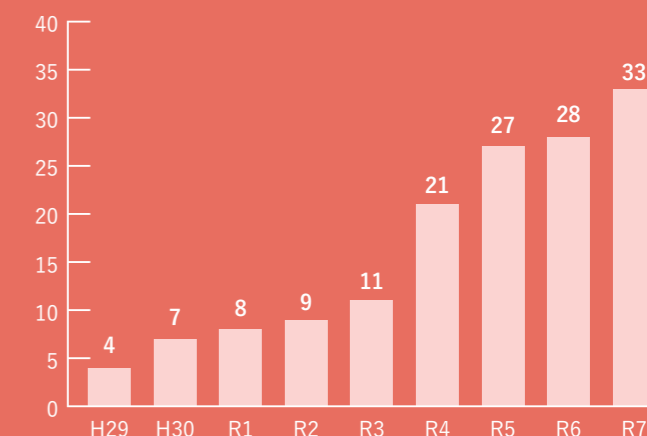
令和7年11月 オーストラリアの訪日講師 デビット氏とともに

業種:地域団体

ココに注目 スマートみやぎ健民会議の最初の会員団体。地域住民の参加による毎日のラジオ体操を長年継続されています。

優良会員

〈優良会員数の推移 ※R7はR8年2月末現在〉



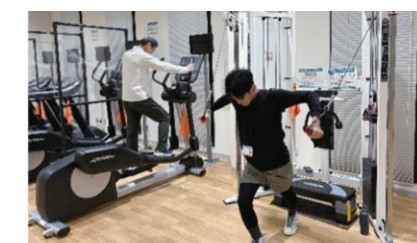
健診受診率、健康づくりの取組を社内外に発信するなどの基準を複数満たし、地域住民の健康づくりや、健康づくりを推進する環境整備に積極的に取り組む会員。

メリット

- 「がんばる中小企業応援資金」信用保証料の軽減
- ハローワーク求人票に優良会員である旨の記載可

★★★
優良会員 トヨタバッテリー株式会社 宮城工場

第1回のスマートみやぎ健民優良賞受賞から10年、生産量の拡大に伴い従業員数は1,700名に増え、健康施策も進化させてきました。運動面では社内にスポーツジムを開設。運動しやすい環境をつくり、スポーツインストラクターによる週2回の運動指導や、3か月に1回の運動教室を開催しております。食事面では社員食堂で県内産食材や生活改善メニューを定期的に提供。更にベジチェック®を導入し、食習慣の意識改革にも取り組んでいます。



「健康は働くためのバッテリー」と考え、今後も“ものづくり”の現場で楽しく健康づくりに挑戦し続けます。

業種:製造業

ココに注目 第1回健康づくり優良団体表彰「優良賞」受賞。運動や食事の面で、従業員が健康づくりを実践しやすい環境を整備されています。

★★★
優良会員 伸興警備保障株式会社

当社は不規則勤務や屋外業務が多い警備業の特性を踏まえ、会社が先頭に立って未病予防を含む健康づくりを進めています。

健康診断は受診率100%を継続し、要再検査者には受診勧奨や日程調整の支援を行い、早期発見・早期対応につなげてきました。日頃の声かけを重ね、社内掲示板や研修会では、イラストを用いた健康啓発ポスターで健康情報を発信し、従業員自らの受診行動が自然に根付く職場へ。

暑さ寒さの厳しい現場でも、ベテラン世代がいきいきと働き続けられるよう、安心して長く活躍していける職場環境をこれからも整えていきます。



業種:警備業

ココに注目 警備業の労働環境の特性を踏まえ、予防の取組を重視し、ヘルスリテラシーの向上につながる取組を推進しています。

★★★
優良会員 株式会社 石油ガス工事

弊社は、2023年より「1日の歩数8000歩」を目標に取り組んでおります。従業員の健康年齢と就労年齢を上げるため、1か月20日以上8,000歩を目指し、一人ひとり自分と向き合いながら毎日励んでおります。全従業員33名の内、半数以上がようやく目標に近づいてきました。

また、社内アンケートより6割が、日常生活において歩行又は同等の運動を1時間以上行っているとの回答があり、メタボリックシンドローム該当者も年々減少傾向にあります。

このほか、全体会議では、外部講師による健康セミナーを実施しております。食生活、生活習慣、メンタルヘルス、認知症、介護等についての講話を聞くことにより、個人の健康に対する意識の向上と高齢化する社内体制に備えていきたいと考えております。

まずは、今年も従業員一丸となって1日8,000歩を目標に前進していきたいと思っております。



業種: プラント検査業・
タンクローリー検査業

ココに注目 「1日8,000歩」という自己チェックしやすい目標設定と従業員の意欲を高める取組は、メタボ改善などの成果につながっています。

★★★
優良会員 株式会社 三浦興業

生活習慣病が出やすい世代の社員が多いので、バランスの良い食事と運動習慣により、健康的な生活習慣を目指しています。

取組としては、

- ①毎朝の出社後の会社周辺の清掃活動により、1日の歩数を増やしています。
- ②健康診断結果で指摘があった項目について、オンラインで、指摘事項を改善するための自分にあった生活や食事のアドバイスを保険組合より定期的に受け、実践しています。
- ③お弁当を取る際は、脂質が低く栄養バランス重視の「健美弁当」を選ぶようにしています。
- ④スポーツジムの利用料金をサポートしています。

全員が、健康的に過ごしたいと意識して行動することで、生活習慣が改善され、会社の士気も上がっていると感じます。2026年は健康診断の指摘事項ゼロを目指して、引き続き皆で楽しく、健康習慣づくりに取り組んでいきたいと思っております。



業種: 管工事業

ココに注目 清掃活動と歩数増加を掛け合わせた取組により、地域貢献と健康増進を同時に達成。スポーツジム利用への助成など、外部リソースを活用した環境整備にも取り組んでいます。

宮城県健康づくり優良団体表彰 受賞者一覧

職場や地域で積極的に健康づくり活動を行っている企業・団体等を表彰しています。

第1回(平成28年度)

大賞
角田市

優良賞

- ・プライムアースEVエナジー株式会社
宮城工場(現 トヨタバッテリー株式会社宮城工場)
- ・宮崎工業株式会社(現 宮城NOK株式会社)
- ・気仙沼市 ・白石商工会議所



第2回(平成29年度)

大賞
女川町

優良賞

- ・YKK AP株式会社 東北製造所
- ・株式会社ミヤックス
- ・1.5(いちご)会



第3回(平成30年度)

大賞
亘理町運動支援
地域サポーター会

優良賞

- ・株式会社大伸建設
- ・柴田町
- ・石巻市立住吉小学校



第4回(令和元年度)

大賞
学校法人朴沢学園
仙台大学

優良賞

- ・ラサ工業株式会社 三本木工場
- ・山元町



第5回(令和2年度)

大賞
東松島市

優良賞

- ・ゴリラガードギャランティ株式会社
- ・石巻ダンベルクラブ



第6回(令和4年度)

大賞
名取市

優良賞

- ・白石ポリテックス工業株式会社
- ・多賀城市多賀モリ会



第7回(令和5年度)

大賞
株式会社支援隊
登米市

優良賞

- ・株式会社医薬品情報センター



第8回(令和6年度)

大賞
アルプスアルパイン株式会社
仙台開発センター(古川)
大河原町

優良賞

- ・有限会社山藤運輸



第9回(令和7年度)

大賞
株式会社ネクスコ・
エンジニアリング東北

優良賞

- ・有限会社マルエ運送
- ・株式会社柴清工業



第3回大賞

亘理町運動支援地域サポーター会

受賞後も、変わらず自主グループ活動を継続し、年間の実施回数は200回以上、参加人数は延べ3,500人程度を維持しています。コロナ禍でも感染拡大防止策を取り活動を継続しました。最近では、町の健診結果説明会での運動紹介や地区組織活動の中で、運動の大切さを伝えるとともに、自分のライフスタイルや健康状態、体力に合った運動を続けられるよう支援を続けています。

おかげさまで、会の活動は17年ほどになりました。会員の高齢化は進んでおりますが、町の実施する運動支援地域サポーターの養成講座に協力し、共に会員として活動する仲間を募り、会員数は50人程度を推移しています。

自分の健康づくりを出発として、地域の皆さんの健康づくりに貢献できるよう、これからも活動を継続していきたいと考えております。

受賞理由

住民がライフスタイルに合わせて運動習慣として取り入れやすい時間や曜日を選択でき、住み慣れた地域で気軽に運動ができるようにとの創意工夫のもと、積極的に運動の大切さと実践方法を広めています。生涯現役を目指した事業の推進に向かい、自助、共助の役割を担い、身近な運動指導者として住民を牽引しています。



第8回大賞

アルプスアルパイン株式会社 仙台開発センター(古川)

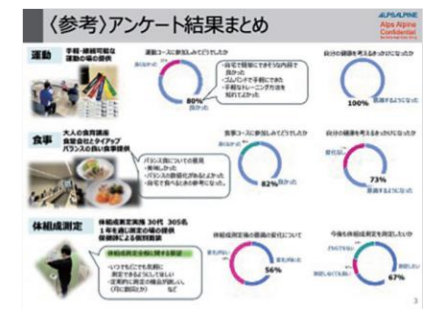
受賞を契機に社内での健康づくりへの関心が一層高まり、各種プログラムへの参加希望や相談が増えるなど、健康行動への前向きな変化が見られました。

生活習慣改善プログラムに取り組んだことによる変化として、従業員へのアンケート結果より従業員の多くに意識の変化が見られました。また、自分の生活変化だけではなく、実際に体組成測定での数値の変化も見られています。今回の活動を通し、場の提供だけではなく、個別面談でのコミュニケーション、健診結果の把握ができる取組・アイテムを活用したことが大きかったのではないかと感じております。

今後も、からだ、こころの両面から社員と職場を支えていけるようメンタルヘルス対策も強化していき、従業員が元気で働ける職場を作る支援をしていきたいと思っております。特に今の時代のニーズに合わせたオンラインカウンセリング、復職プログラムの修正含め、変化するものに柔軟に対応していける取組をしていきたいです。

受賞理由

社員の主な年齢層(30~40代)を考慮した多彩な生活習慣改善プログラムの提供や、業務の特性・健康課題を踏まえた支援、健康的な食環境整備、多様性・快適性への配慮等、トータルで社員の健康を支える職場環境づくりを実践しています。



第4回大賞

学校法人朴沢学園 仙台大学

体育系大学における健康づくり分野での受賞は大変名誉なことでした。

学生たちは運動指導やコミュニケーションスキルを身に付けるため、様々な現場で活動しています。現場では運動プログラムを通して、学生と参加者が交流し、地域の健康づくり、学生のスキルアップに繋がっています。本事業に参加した学生からは「指導力やコミュニケーション能力を高めることができた」などの声があり、卒業後は、教育、福祉、運動施設など様々な現場で活躍しています。

本事業は「東日本大震災」「新型コロナウイルス感染症」など困難な状況下でも活動を継続してきました。今後「いつ」「どこで」自然災害が発生するかわかりません。常時だけでなく非常時でも人々の健康増進・介護予防に貢献できるよう活動を展開していきたいと思っております。

受賞理由

介護予防・生活習慣病予防対策において不足している実践的な運動指導ができる人材を育成するとともに、育成した人材を地域に派遣し、地域の健康づくり活動や被災地健康支援活動の支援を進め、地域に貢献することを目的として、地域密着型の健康づくり支援システムの推進に取り組んでいます。



第9回大賞

株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北

この度の受賞は、社員が主体的に健康づくりへ取り組めるように推進してきた成果が評価されたものと受け止めております。社内では受賞を契機に健康施策への関心が更に高まり、部署を越えたコミュニケーションの活性化にも繋がるなど、良い反響がありました。

取組の中でも、チームで日々の歩数を共有し励まし合うウォーキングイベントや、独自に企画した健康行動促進イベントは特に好評で、参加者からは「運動しなければ危機感を持った」「筋肉量が増えた」「野菜をもっと食べようと思った」などの前向きな声が寄せられました。こうした積み重ねにより、着実に社員の運動習慣率の向上や食生活が改善し、組織全体の健康意識も高まりつつあります。

次の10年に向け、社員が健康であることを心から楽しめる仕組みの構築を推進してまいります。安全・健康に働き続けられる職場環境を追求し、時代の変化に合わせた柔軟な見直しを繰り返しながら、健康経営のさらなる高みを目指して邁進してまいります。

受賞理由

複数の健康行動を組み合わせた独自のイベント開催やウォーキングイベントへの参加など、創意工夫のある継続的な健康増進活動に加え、毎年、健康経営に係る取組結果やその評価・考察を公表して改善を重ねた結果、社員の運動習慣率が向上するなどの行動変容につながったことが評価されました。



代表者会議の記録

第1回(平成29年11月13日)

テーマ みやぎのスマートアクションの実現に向けて

会長の村井知事から、県民の健康課題やスマートみやぎ健民会議創設の経緯を説明。健康課題の解決に向けて、各界との連携強化が必要であるとして、県民運動の更なる前進に向け理解を求めました。

また、「みやぎのスマートアクション」として、「あと、1日、15分(1,500歩)歩く」を提案。出席者からは「県民運動に

するにはきっかけやインセンティブが必要」「個人での取組には限界がある。従業員の健康づくりを後押しする企業のサポートが重要」などの意見交換が行われました。

先進的な取組として、女川町と白石商工会議所から、健康づくりの視点を入れたまちづくりや地域振興の取組を紹介いただきました。



第3回(令和元年11月22日)

テーマ 県民の健康課題と健康づくりの取組について

各団体それぞれの取組報告と意見交換を行いました。経済分野からは、健康経営の推進のためには、入札加点や金融面での優遇措置などのインセンティブが効果的であるということや、保険者と経済団体が連携して健康経営の普及活動を推進しているといったお話がありました。

メディア各局からは、健康をテーマにした番組での情報発信について、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護

協会、栄養士会からは、それぞれの専門性を活かした健康づくりの取組を紹介いただきました。

顧問の辻教授(当時)からは、「会員が増加してきたスマートみやぎ健民会議は、次のステージを考えていかなければならない。ウォーキングアプリやベジプラスの取組がさらに広がるよう、先行事例を増やせるような支援が大切。」といった御助言をいただきました。



第2回(平成31年1月31日)

テーマ みやぎウォーキングアプリ完成報告

みやぎのスマートアクション「あと、1日、15分(1,500歩)歩く」の実現を目指して運用を開始した「みやぎウォーキングアプリ」を披露しました。アプリには、市町村との連携により県内ご当地キャラクターの登場やウォーキングコースを掲載するなど、歩きくなる仕掛けを取り入れたことを報告しました。

意見交換では、住民主体でウォーキングコースを作った自治体の事例や、テレビ番組でエクササイズ紹介など情報発信をした取組を紹介いただきました。また、先進的な取組紹介として、代表者会議の構成員でもある全国健康保険協会宮城支部から「職場健康づくり宣言」の取組について情報提供いただきました。



第4回(令和6年11月14日)

テーマ 連携と協働による、これからのみやぎの健康づくり

5年ぶりの開催となった第4回は、顧問による話題提供のほか、令和6年度からスタートした「第3次みやぎ21健康プラン」の紹介、連携と協働による取組について意見交換しました。

話題提供のなかで顧問の辻名誉教授から、「労働人口減少、高齢化が加速するなかで、健康づくり担当部局だけでなく、自治体は全庁的に、経済分野では健康づくりと地域経済の活性化をリンクさせた取組など、地域が総力

を上げ、健康寿命の延伸を実現できるよう「連携と協働」を進めることが大切。」との御助言がありました。

意見交換では、スマートみやぎ健民大賞受賞の取組のほか、新聞社が保険者や協賛企業と連携して企業の健康経営を支援する取組や、保険者が大学と連携して睡眠に関する調査や取組を行っている事例、テレビ局が大学と連携した目の健康のためのアプリ開発の事例などを紹介いただきました。



応援企業

スマートみやぎサポーター

応援企業が行うサポート例

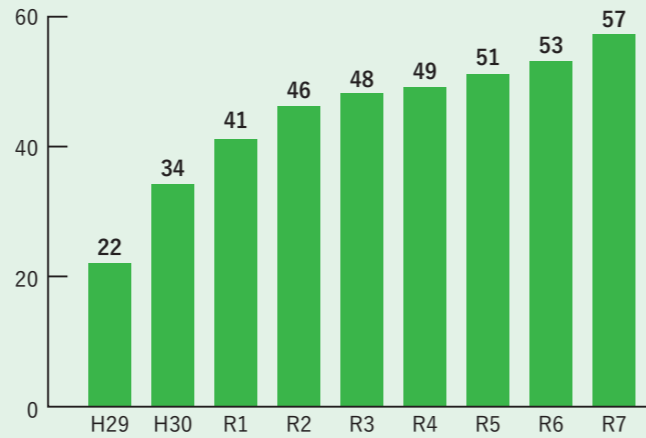
- 県主催歩数増加イベントへの協賛による意欲向上への支援
- ベジプラス100&塩ecoの普及啓発や商品化による食環境整備

応援企業側のメリット

- CSR(企業の社会的貢献)活動として企業ブランド・イメージの向上
- 県主催イベントでの展示ブース出展

健民会議の活動を支援する企業・団体数の推移

※R7はR8年2月末現在



応援企業 アクサ生命保険株式会社仙台支社

仙台・塩釜・白石・石巻・古川・気仙沼を拠点とする106名の健康経営アドバイザーがスマートみやぎ健民会議会員登録推進や健康経営に関する情報提供・実践支援、また健康経営優良法人認定に向けたサポートを行っております。

スマートみやぎ健民会議会員は7年間で600を超える企業の登録を行い、健康経営優良法人認定サポート数は5年間で約2倍に増加することができました。

今後もスマートみやぎ健民会議会員登録推進活動を継続し、アクサの健康経営をご提供することにより、宮城県内の企業様、従業員様、またそのご家族が健康でいきいきとした人生を送るためのサポートを行ってまいりたいと思います。

貢献POINT 企業の健康経営優良法人認定をサポートし、スマートみやぎ健民会議の新規会員登録数を自社のKPIに設定されており、会員の増加に大いに貢献いただいております。



応援企業 全国健康保険協会 宮城支部

スマートみやぎ健民会議10周年、誠にありがとうございます。

協会けんぽ宮城支部では、特定健診・特定保健指導の推進をはじめ、事業所と連携した職場健康づくり宣言の普及、運動・食生活改善などに関する出前健康づくり講座や情報発信などを通じて、県内事業所の皆さまの健康づくりを支援してまいりました。

近年はデータに基づく保健事業やICTの活用にも取り組んでおります。今後も関係機関との連携を一層深め、「健康で長く働き続けられる宮城」の実現に向け、地域に根ざした取組を推進してまいります。

貢献POINT 受動喫煙防止宣言施設の普及拡大を、県・仙台市とともに推進。また、健康経営の普及促進を目的とした「職場健康づくり宣言」登録事業を展開し、事例紹介や「事業所カルテ」作成により企業の取組をサポート。近年は、大学等と連携し、睡眠に関する取組や、ドライバー向け健康メニュー開発などにも取り組んでいます。



応援企業リスト

2017(平成29)年度

- 公益財団法人 宮城県腎臓協会
- カゴメ株式会社 東北支店
- 全国健康保険協会 宮城支部
- 第一生命保険株式会社 仙台総合支社
- みやぎ生活協同組合
- 宮城県商工会連合会
- イオン東北株式会社
- アクサ生命保険株式会社 仙台支社
- 公益財団法人宮城県対がん協会
- 公益財団法人宮城県スポーツ協会
- 公益財団法人宮城県結核予防会

- 宮城県ウォーキング協会
- フェリカポケットマーケティング株式会社
- 大塚製薬株式会社 東北支店
- 日本郵便株式会社 東北支社
- 株式会社ディーエイチシー
- 株式会社たびむすび
- 松山中央調剤薬局
- ミズノ株式会社 東北支社
- サンスター株式会社
- マルコム株式会社 東日本支社 東北支店

2018(平成30)年度

- 株式会社イトーキ 東北支社 仙台支店
- SOMPOひまわり生命保険株式会社 東北法人支社
- 住友生命保険相互会社 仙台支社
- 味の素株式会社 東北支社
- 株式会社ウジエスーパー
- 株式会社ウジエデリカ

- フレスコ株式会社
- 明治安田生命保険相互会社 仙台支社
- 三井住友海上あいおい生命保険株式会社
- 雪印メグミルク株式会社 東北支店
- 株式会社ベガルタ仙台

2019(令和元)年度

- 日本生命保険相互会社 仙台支社
- 株式会社サンドラッグ
- 株式会社半田屋

- 株式会社井上
- 中外製薬株式会社北日本統括支店
- 株式会社Mizkan

2020(令和2)年度

- 株式会社藤崎
- 森永乳業株式会社東北支店

- 協和キリン株式会社東北支店

2021(令和3)年度

- キッコーマン食品株式会社東北支社

- 大塚食品株式会社 仙台支店

2022(令和4)年度

- 理研ビタミン株式会社 仙台支店

- ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 東北支社

2023(令和5)年度

- 株式会社ルネサンス
- 株式会社セブン・イレブン・ジャパン

- アサヒ飲料株式会社
- ユウキ食品株式会社 仙台営業所

2024(令和6)年度

- 資生堂ジャパン株式会社

- 株式会社わぎケア

2025(令和7)年度

- 株式会社白寿生科学研究所
- 株式会社ACCELStars
- 株式会社 明治 北日本支社 仙台オフィス

- 塩野義製薬株式会社 仙台営業所
- ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
- ハウス食品株式会社 東北支店

(登録順)

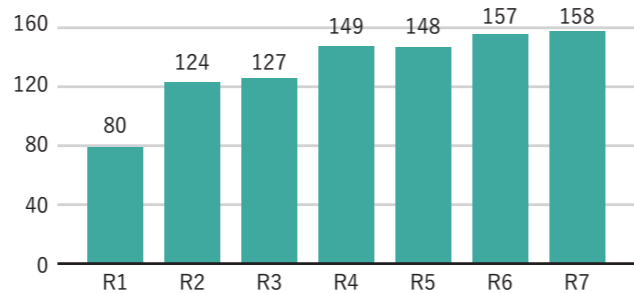
みやぎヘルスサテライトステーション

MIYAGI HEALTH SATELLITE STATION

©宮城県 旭プロダクション

ショッピングセンターやドラッグストア・薬局などにおいて、
県民の皆様が買い物などの日常生活の中で、
気軽に健康づくりに取り組める環境づくりを推進しています。

〈登録数の状況 ※R7はR8年2月末現在〉



みやぎヘルスサテライトステーションでできること

健康チェック・測定



古川調剤薬局駅前店

健康情報の入手



サンドラッグ 仙台一番町薬局
多賀城調剤薬局

健康イベント (相談、体験)への参加



石巻みらい薬局

「ヘルサテ」第1号は平成29年8月、
イオンモール名取に開設しました!

様々な取組が実施されています!

あなたの街の「ヘルサテ」をチェック!



健康情報紙「健康ニュース」
の発行(宮川薬局)



ホテルでのウェルネスイベント
(Body studio GRACE)



イベントにおける栄養相談会
(アップル薬局川平店)



町役場や関係団体と連携した
「まちかど保健室」における
血糖値測定会(イオンスタイル新利府)

開催したイベントの概要

県民の健康づくりを推進するため、これまでに実施した過去の主なイベントやセミナーの様子をご紹介します。

スマートみやぎ健民会議 設立記念講演会

平成28年2月9日(火)
宮城県庁行政舎 2階 講堂

「スマートみやぎ健民会議」の設立を記念して講演会を開催。村井知事がスマートみやぎ健民会議の設立を宣言するとともに、顧問の辻一郎教授(当時)の基調講演、ゲストの元ベガルタ仙台 千葉直樹氏によるトークショーが行われました。



データヘルス・予防サービス見本市 2016in東北(データヘルス・予防サービス 見本市実行委員会主催/宮城県共催)

平成28年11月21日(月)
仙台国際センター展示棟

個人の健康づくりを促す社会全体の仕組みづくり
を目的としたイベントにおいて、村井知事が登壇し、「スマートみやぎ健民会議」の機運醸成及び県
内の会員同士の連携強化をPRしました。



平成28年度スマートみやぎ健民会議 管理者等セミナー

平成29年2月23日(木)
仙台国際センター会議棟

スマートみやぎ健民会議会員団体等を対象に、
他県の先進的な取組を紹介したほか、東北大学
大学院歯学研究科 小坂健教授に講演いただきました。
第1回健康づくり優良団体表彰式も同時開催。



日本健康会議2017

(日本健康会議実行委員会主催)

平成29年8月23日(水)

イイノホール&カンファレンスセンター(東京都千代田区)

経済界・医療関係団体などで行く「日本健康会議」において、「スマートみやぎ健民会議」の取組を全国にPRしました。



令和元年度スマートみやぎ健民会議 管理者等セミナー(第2回)

令和2年2月7日(金)

TKPガーデンシティ仙台

健康づくり優良団体表彰式と健康経営をテーマにした基調講演が行われたほか、応援企業12団体にブース出展いただきました。



平成29年度スマートみやぎ健民会議 管理者等セミナー(日本健康会議共催)

平成30年2月21日(水)

仙台市太白区文化センター 楽楽楽ホール

地域版日本健康会議としても開催され、県内の市町村、企業など約300名が参加。加藤勝信厚生労働大臣(当時)から「日本全体のモデルとして取組の強化を期待します」とのビデオメッセージが寄せられました。また、日本健康会議や厚生労働省による講演、健康づくり優良団体表彰と受賞団体による先進的取組紹介が行われたほか、応援企業ブースは最新の健康情報が紹介されるなど多くの人でにぎわい、大盛況でした。



令和5年度みやぎ健康3.15.0フェア

令和5年11月6日(月)

仙台市中小企業活性化センター

4年ぶりの開催となったイベントでは、表彰、「みやぎベジプラスメニュー」商品化発表会、健康づくりセミナー、応援企業ブースなど盛りだくさんの内容で実施しました。

スマートみやぎ健民会議 大崎地域職場健康づくりリーダーセミナー

平成31年2月1日(金)

宮城県大崎合同庁舎 1階 大会議室

スマートみやぎ健民会議を核とした健康づくりを各地域においても活発に推進するため、大崎地域において、企業や市町村を対象としてセミナーを開催。当時、大崎・黒川地区で先駆的に実施していた「歩数アップチャレンジ」の表彰式や、優良取組事例の紹介、タニタ食堂の栄養士による講演、応援企業のブース出展などが行われました。

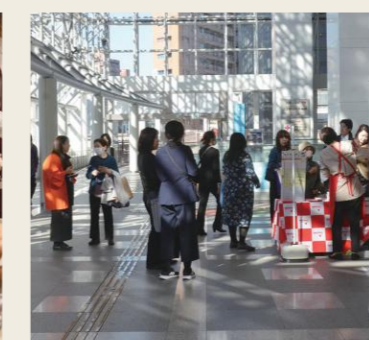


令和6年度みやぎ食育と 健康づくりフェスタ

令和6年11月14日(木)

仙台市中小企業活性化センター

健康づくりセミナーでは、「自然に健康になれる環境づくり」と題した顧問の辻名誉教授のご講演と、会員企業2団体から事例発表いただきました。



令和7年度みやぎ食育と 健康づくりフェスタ

令和7年11月4日(火)

AER、仙台市中小企業活性化センター

表彰やベジプラスメニュー商品化発表会に続き、「栄養」、「運動」、「睡眠」、「女性の健康」をテーマにしたミニセミナーや、スマートみやぎ健民会議10周年記念パネル展示も実施。また、17の企業等ブースは、AERの3つのフロアに設置し、多くの県民の皆様に御来場いただきました。



令和元年度スマートみやぎ健民会議 管理者等セミナー(第1回)

令和元年7月17日(水)

エル・パーク仙台 スタジオホール

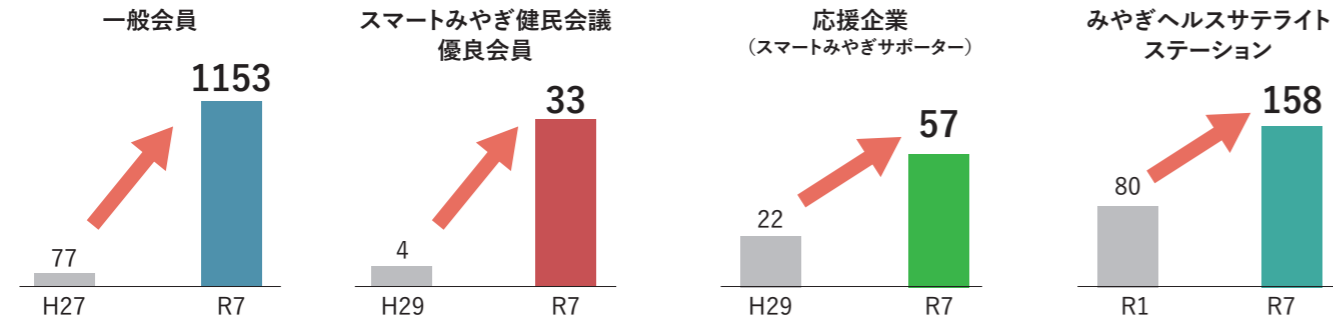
宮城労働局から「働き方改革」について、(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会宮城支部から「受動喫煙対策」について講演いただきました。



スマートみやぎ健民会議 これまでの成果

成果① 県民運動としての拡がり

この10年間で、様々な業種の企業・団体が参画し、会員数は1,100団体を超えました。健康経営の推進、健康に関する情報発信など、健康づくりに取り組む主体が増加しており、県民運動として広がっています。



一般会員の内訳

企業	NPO法人・地域活動	産業保健団体	医療関係団体	保険者	報道機関	教育・保育関係	行政機関	計
991	34	31	29	11	9	9	39	1153

全ライフステージ切れ目のない健康づくりの支援体制の構築へ

成果② 県と連携した取組の増加

応援企業、大学などが県の事業に賛同し、協働で取り組む事業が定着しています。

また、連携による取組は健康づくりに留まらず、がん対策などの取組にも波及しています。



ベジプラスメニュー商品販売の様子



ベジプラスメニュー商品



県主催イベントでの応援企業の出展



応援企業やヘルスサテライトステーションによる取組
(写真: サンドラッグ提供)

〈県事業との連携の例〉

- 県主催の歩数増加イベント「歩数アップチャレンジ」には、会員が多く参加。応援企業にも協賛によりイベントを盛り上げていただいています。
- みやぎベジプラスメニュー商品化では、大学から毎年多くのレシピが応募され、多くの店舗で販売されるようになりました。(例年11月頃、期間限定)
- 応援企業やヘルスサテライトステーションによる健康情報の発信も増加しています。



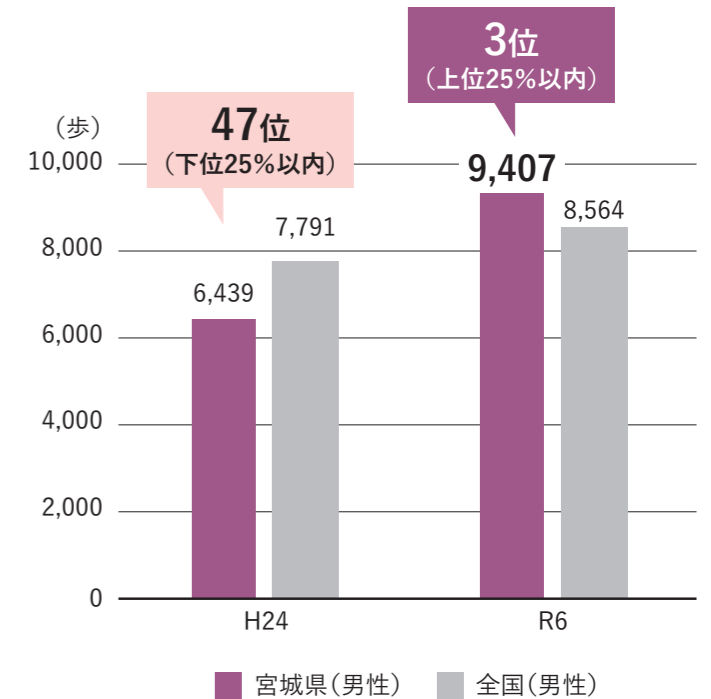
歩数アップチャレンジへの応援企業の協賛

成果③ 歩数は増加し“ワースト”から脱却、健康寿命は延伸

みやぎのスマートアクションとして、「あと、1日、15分(1,500歩)歩く」を掲げ、重点的なテーマとして会員の皆様と取り組んできました。

スマートみやぎ健民会議発足当時の全国ワースト1位だった歩数は、全国平均を抜いて上位3位となりました。

また、この10年で、健康寿命(健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間)は着実に延伸しています。



次の10年に向けて

企業、保険者、医療関係団体、大学、行政機関等が手をつなぎ、一体となって県民の健康と真剣に向き合ってきた10年。この10年でまかれた健康づくりの種は、今、着実に芽吹き、豊かな広がりを見せています。

県では、県民の健康課題である、メタボリックシンドローム、塩分過剰、喫煙率が高いなどの課題解決に向け、スマートみやぎ健民会議や関係団体などと連携し、歩数増加、野菜摂取・減塩、受動喫煙防止などに関する取組を推進してきました。これまでの取組をより充実させていくとともに、今後は、新たな食環境づくりにも挑戦してまいります。

そのため、県だけではなく、会員、応援企業やヘルスサテライトステーションの皆様と協働で取り組んでいくことが、成功につながるものと確信しております。

県民一人一人が生きがいを持ち、充実した人生を健やかに安心して暮らせる健康みやぎの実現を目指して、スマートみやぎ健民会議の皆様でアイデアと力を集結させながら、“オールみやぎ”で健康づくりを推進していきましょう。



ロゴマーク一覧

スマートみやぎ健民会議における健康づくりの取組を広く周知するため、ロゴマークを制作しました。

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26				

スマートみやぎ健民会議の会員は、ロゴマークをご使用いただけます。
(使用には申請が必要です。)

〈使用例〉
会社のホームページ、名刺、健康に関する情報紙などへの掲載

申請はこちら▶

スマートみやぎ健民会議 会則

(名称)

第1 本組織は、スマートみやぎ健民会議(以下「健民会議」という。)という。

(目的)

第2 みやぎ21健康プランを踏まえ、本県の健康課題の改善を目指し、県民の健康と幸せを実現するため、行政、企業、医療関係団体、保険者、関係機関・団体等の参画と協働により、健康に関する県民運動を推進し、全ライフステージを通じた切れ目のない健康づくりの支援体制を構築することを目的とする。

(活動)

第3 健民会議は、第2の目的を達成するために次の活動を行う。

- (1) 県民の健康と幸せを実現するための健民運動の推進に関すること。
- (2) 県民の健康づくりに関する情報の提供や理解の促進に関すること。
- (3) 会員相互の情報共有、情報交換に関すること。
- (4) 健康づくりに関する表彰に関すること。
- (5) その他県民の健康づくりの推進に関すること。

(会員)

第4 健民会議は、第2の目的及び第3の活動に賛同する企業、保険者、医療・保健・教育・産業分野の機関・団体、行政機関等を会員とする。

(会員の職務)

第5 会員は、次の活動を行う。

- (1) 各会員の事業、活動及びサービス等を通じて、適正体重の維持を主眼に、県民への健康づくりの意識を浸透させる。
- (2) 各会員の構成員等を対象とした意識啓発等を通じて、適正体重の維持を主眼に、構成員等への健康づくりの意識を浸透させる。

(優良会員)

第6 会員のうち、構成員または地域住民の健康づくりや、健康づくりを推進する環境整備に積極的に取り組み、取組の内容が別に定める基準を満たしている会員を優良会員とする。

(役員)

第7 健民会議に会長1名、副会長2名を置く。

- 2 会長は宮城県知事の職にある者を充てる。
- 3 副会長は、公益社団法人宮城県医師会及び宮城県商工会議所連合会の代表の職にある者を充てる。
- 4 会長の指名により、健民会議に顧問を置くことができる。

(役員職務)

第8 会長は、健民会議を代表し会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。
- 3 会長は、別に定める第4の会員を代表する団体の代表の職にある者を招集し、連携・協働に係る健民会議の活動の方向性について必要な検討を行う。
- 4 顧問は、会長の求めに応じ、健民会議の運営に関して助言を行う。

(事務局)

第9 健民会議の事務局は、宮城県保健福祉部健康推進課に置く。

- 2 事務局をサポートするため、宮城県の関係課室で構成する庁内連絡調整会議を置く。

(その他)

第10 この会則に定めるもののほか、健民会議の運営等に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この会則は、平成27年12月18日から施行する。

附 則

この会則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この会則は、平成29年11月1日から施行する。